

全国港湾Fax通信

No.

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番)全国港湾18FAX第31号
(宛先) 各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長	2018年11月 9日 時 分
(件名) 殿	(発信者) 全国港湾書記局

18 秋年末闘争/冬季(期)一時金情報(1)

(本文) 18年秋年末闘争中央行動は11月21日に行政交渉及びユーザー申し入れ、要請行動、22日に決起集会の開催を準備している。各地区港湾の大会が開催され、中央・地区で秋年末闘争が本格的に取り組みられています。

さて、18冬季(期)一時金交渉がスタートしました。11月9日現在の一時金の取り組み情報を下記します。

1. 全港湾 11月8日現在、速報分会140分会中、10分会(7%)に有額回答が提示された。東北地方では集団交渉が進み、有額回答が示され、すでに妥結した分会も出ている。東北地方速報分会11分会中、10分会に有額回答が出され、9分会がすでに妥結している。回答平均額は567,250円、妥結額平均は576,307円となっている。
2. 日港労連 日港労連として、年間基準内賃金6ヶ月分を要求している。港荷部門、関連部門において現在各地で交渉中。全検部門においては10月30日に要求書を提出した。
3. 検数労連 10月30日に第1回検数労連18冬季一時金交渉を開催し、要求書を提出した。要求額については下記の通り。
 全日検：職員A(本給+家族)×3ヵ月+一律10万円+都市加算
 職員B(本給+地域年齢)×3ヵ月+一律10万円+都市加算
 日 検：(本給+家族)×3ヵ月+一律10万円+都市加算
 支給日については、12月10日(月)とすること。第2回は11月9日(金)に開催し、基礎数字の提出を求めた。第3回は11月22日(木)に開催する。
4. 検定労連 検定労連として、11月5日(月)に各社に対し要求書を提出した。要求額については下記の通り。
 海事検定：基準内×1.24660ヵ月+賞与評価+一律20万円+α
 ㈱シンケン：基準内×1.8246ヵ月+一律20万円
 尚、上記各々、標準者(35歳)で65万円に相当する。支給日を12月7日(金)とすること。

5. 全倉運 11月5日現在、秋年末闘争方式の回答及び年間方式の回答状況は次の通り。
単純平均 18 組合、2,180 カ月、平均回答額 598,908 円。加重平均 1,798 人、2,266 月、621,168 円。
<年間方式(春または夏に決定)の集計>
単純平均 7 組合、2,442 カ月、平均額 678,481 円。
加重平均 1,649 人、2,856 カ月、平均額 822,962 円。
6. 大港労組 11月15日(木)に第1回回交を開催予定。要求額は85万円とする。
7. 全日通 一時金は年間 1,180,000 円(税込み)
内訳/夏季一時金 580,000 円、年末一時金 600,000 円。

以 上